

# やってみよう「ミニブックトーク」【小学校低学年向け】

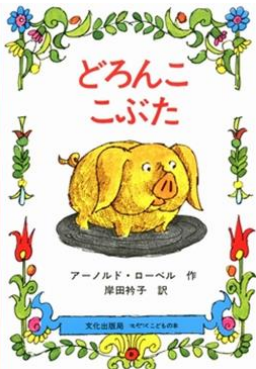
－本のリスト①－

長崎県の子どもにすすめる本 500選より


## テーマ「すきがいっぱい」

こどもたちは「すき」がいっぱい！  
そんな「すき」というきもちを大切にできるおはなしをあつめてみました。

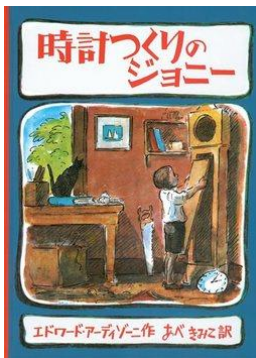
### ①あなたのすきなものって、なあに？

	<p>「どろんこぶた」 アーノルド・ローベル／作 岸田衿子／訳（文化出版局）</p> <p>こぶたが何よりも好きだったこと、それは柔らかいどろんこの中にすわったまま沈んでいくことでした。</p> <p>ある朝、おばさんがぶた小屋を大そうじして、大好きなどろんこがなくなってしまいます。こぶたは家を逃げ出して、どろんこ探しの旅に出ます。こぶたの好きなどろんこは見つかるのでしょうか。</p>
---	--

### ②どのくらいすきか、つたえるのってむずかしい！

<p>「どんなにきみがすきだかあててごらん」 サム・マクブラットニィ／ぶん アニタ・ジェラーム／え 小川仁央／やく（評論社）</p>	
<p>チビウサギとデカウサギは大の仲良し。「ぼくはきみのことこーんなにすきだよ」と、2匹は相手への気持ちを、腕を広げたり、背伸びしたり、飛び上がったたりして伝え合います。</p> <p>あなたなら「すき」をどんなふうに伝えますか。「すき」と表現する大切さをあらためて実感できるおはなしです。</p>	

### ③「すき」ってきもちをもちつづけるって、すてきなこと！

	<p>「時計づくりのジョニー」 エドワード・アーディゾーニ／作 あべきみこ／訳（こぐま社）</p> <p>ジョニーは手先が器用でものを作るのが大好き。ある日、本物の大時計を作ろうと心に決めたのですが…。</p> <p>周りの大人たちの態度にもめげず、好きなことに夢中で打ち込む少年の姿を生き生きと描いたおはなしです。</p>
---	--

### ～ このテーマで紹介したいその他の本 ～

「なぞなぞのすきな女の子」 松岡享子／さく 大社玲子／え（学習研究社）